

一般社団法人日本損害保険協会 九州・沖縄支部

沖縄県「年末年始の交通安全運動開始式」で啓発活動

～飲酒運転根絶や事故多発交差点に関し沖縄県庁で来庁者に呼びかけ～

日本損害保険協会沖縄損保会（会長：山里 武司 大同火災海上保険株式会社 取締役常務執行役員）では、12月19日（金）に沖縄県庁で開催された「年末年始の交通安全運動開始式（主催：沖縄県等）」に参加し、来庁者に飲酒運転根絶や県内の事故多発交差点を知ってほしい旨を呼びかけました。

開始式では、交通事故で亡くなられた方々に黙祷した後に、沖縄県 大城 肇 副知事から「12月21日から年末年始の交通安全運動が実施される。飲酒運転の根絶および危険運転の防止等を重点項目として推進機関、団体と連携し、様々な取り組みを推進していく。県民の一人一人が交通ルールを守り、譲り合いの気持ちを持って、交通マナーを実践することが重要である。県民の皆さんには本運動の趣旨を理解いただき、ご協力をお願いする」。また、沖縄県警察 小堀 龍一郎 本部長からは「最重要課題である飲酒運転について、本年11月現在、飲酒絡みの人身事故は63件。うち死亡事故は3件。飲酒運転で検挙されたのは845人にのぼる。飲酒運転や重大事故に直結する悪質、危険な交通違反の指導・取り締まりを強化するとともに、関係機関・団体の皆さんと連携し、県民の安全・安心な交通環境を確保するための取組みを推進する」と挨拶がありました。

開始式終了後には、沖縄県の職員等とともに来庁者に対してチラシ等を配布し、飲酒運転根絶等の交通安全に関する啓発を実施しました。

沖縄損保会では、沖縄県や沖縄県警察をはじめとする、関係機関・団体とともに、交通事故防止の啓発等を通じて、地域の安全・安心向上に資する活動を推進して参ります。



沖縄県大城副知事の挨拶



沖縄県警察小堀本部長の挨拶



式典の様子



配布した啓発物